



あぐい議会 だより

No.197

令和5年5月1日発行

大古根地区祭礼

- ① 令和5年度 当初予算 P2
- ② 令和5年 第1回定例会 P4・5
・ 人事案に同意
- ③ 追跡レポート
あの答弁はどうなった！ P13



夢ある阿久比町の実現に向け 公約の施策を 盛り込んだ手堅い編成

令和5年度
当初予算

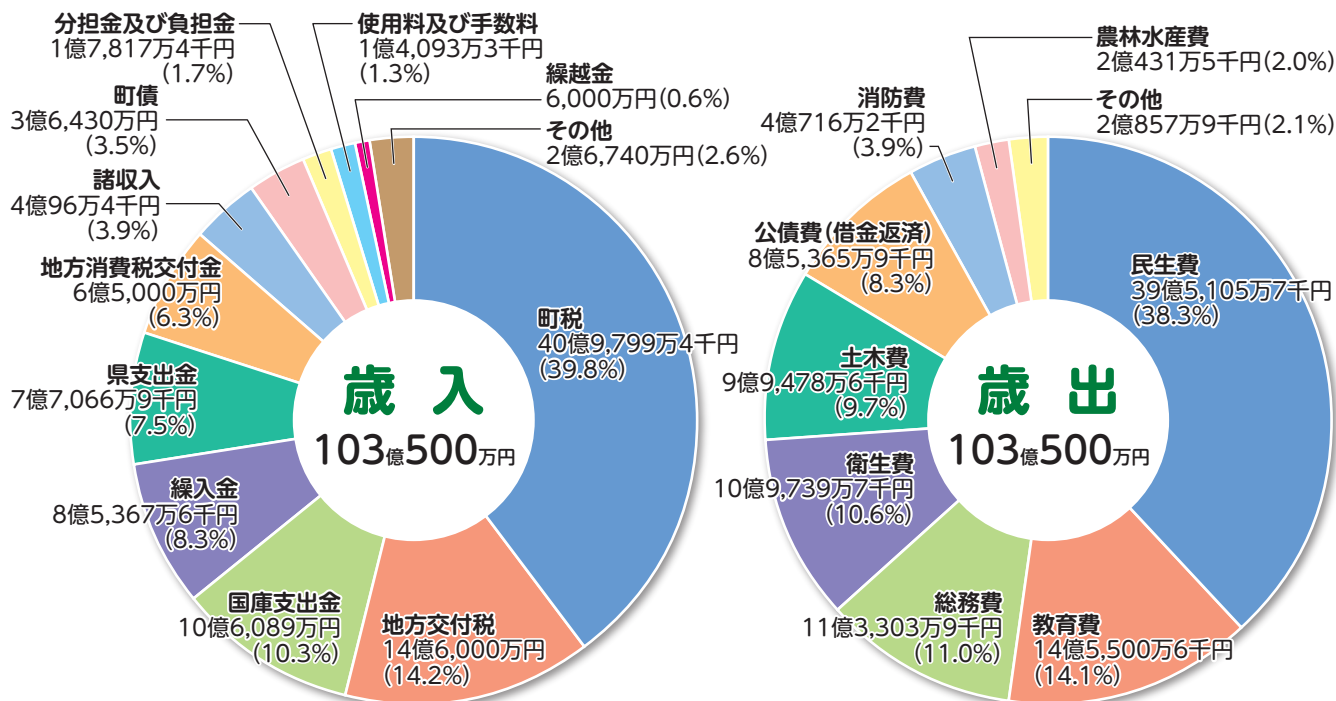
令和5年度 一般会計予算

103億500万円(前年比 0.4%減) ほぼ前年並み

歳入 → 町税総額: 40億9,799万4,000円 1.0%減 地方交付税: 14億6,000万円 20.7%増

歳出 →

目玉施策	70周年記念事業	山車祭り事業を中心に29事業	29,916千円
	阿久比駅周辺整備事業	調査・概略設計費	6,589千円
	子育て支援	入院費助成高校生年代まで延長	187,777千円
		子育て短期支援事業	136千円
		小学校教育相談員2名体制に増員	1,932千円
		保育園使用済おもつ自園処理事業	1,189千円
	空き家対策	解体工事の補助制度	400千円
	防犯対策	簡易型自動録音機無料配布など	948千円
	学校・公園等公共施設	照明のLED化推進	20,491千円
	スポーツ村整備	交流センタープール温水化など	94,846千円
	防災マップ	多言語化	1,122千円



令和5年度 特別会計・企業会計予算

区分	予算額	前年比
国民健康保険	25億2,504万7千円	0.6% 増
介護保険	21億3,004万8千円	5.0% 増
後期高齢者医療	4億4,790万5千円	4.3% 増
上水道事業	9億3,941万2千円	31.7% 増
下水道事業	8億5,347万6千円	2.3% 減

質問コーナー



このコーナーは、皆様に「議会だよりを気軽に、わかりやすく読んでいただきたい」という願いから生まれたコーナーです。

議会で決まった内容から困った時のお役立ち情報も掲載するので是非ご覧下さい。

令和5年第1回定例会「令和5年度一般会計予算より」



あーさん

「子育て短期支援事業（委託料）」って何のこと？

国や県からの補助金も利用して、**子ども（18歳未満）**を**養育している保護者**が病気や事故、その他の**やむをえない事情で一時的に養育できない**。もしくは、**DVなどで緊急一時避難を必要とする場合に一時的に養育、保護する事業**を施設に委託してくれるんだって。

困ったら一人で無理せず、まずは役場に相談してね。

阿久比町役場

TEL 48-1111(代) (子育て支援課子育て支援係 内線1130)



ぐーさん



あーさん

防犯対策の「簡易型自動録音機無料配布」って何？
誰でも貰えるの？

振り込め詐欺などの**特殊詐欺対策用で固定電話機**に簡単に取り付けられるよ。

配布対象は**65歳以上の一人暮らしと65歳以上の高齢者のみの世帯**になっているよ。

希望者は役場に相談してね。

阿久比町役場

TEL 48-1111(代) (防災交通課交通係 内線1210)



ぐーさん

令和5年 第1回定例会

主な議決内容

会期／3月6日～23日

議案／条例等12件、補正予算5件、当初予算6件、同意3件、報告1件

可決

令和5年度

阿久比町一般会計予算

賛成討論

山本 良輔 議員

令和5年度阿久比町一般会計予算は、阿久比中学校校舎増築工事が令和4年度で完了したことなどにより、総額103億500万円となり、前年と比べ0.4%、4000万円の減で、100億円を超える過去5番目の予算規模となっている。

衛生関係では、妊娠・出産・子育てに関する伴走型の支援と経済的支援としての出産・子育て応援給付金をはじめ、健康マイレージ事業、オアシスセンター長寿命化対策工事が計上されている。清掃事業では、ごみ減量の目標達成のため、新たに刈草・剪定枝の拠点回収の開始など、ごみ減量化対策事業が拡充されている。厳しい財政状況の中、限られた財源を効果的・効率的に配分し、「夢ある未来へのまちづくり」に主眼を置いて、未来を見据えた予算であると評価し、令和5年度阿久比町一般会計予算の賛成討論とする。

賛成討論

竹内 卓美 議員

令和5年度阿久比町一般会計予算は、田中町政の最初の予算案だが、本町の未来を見据えつつ、喫緊の課題にも、しっかりと対応したものとなっている。子ども医療費の入院部分の助成を18歳まで拡大し、保育園で使用済みとなったオムツを公費で処分する予算、妊娠期から子育て期までの支援をする出産・子育て応援給付金、給食費の物価高騰対策も保護者の経済的負担を支援する予算が計上され、阿久比町の将来を担う子育て世帯の負担を軽減する施策が充実している。災害対策についても、避難所の衛生対策として簡易トイレの導入、簡易ベットの充実、避難所用発電機の配備等多くの事業が計画されている。また、阿久比駅周辺整備関連事業など、将来に備えた予算編成であると評価し、令和5年度阿久比町一般会計予算に賛成する。

議員提出議案第1号

阿久比町議会の個人情報保護に関する条例の制定について

阿久比町議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めました。

同意

副町長の選任
について（新任）

かに
蟹

え
江

のぶ
信

ひろ
裕

氏（卯之山）

同意

教育長の任命に
について（再任）

たけ
竹

うち
内

あつし
淳

氏（草木）

同意

固定資産評価員の
選任について（新任）

かに
蟹

え
江

のぶ
信

ひろ
裕

氏（卯之山）

令和5年 第1回定例会

○賛成 ×反対 一議長

件 名		小柳みゆき	澤田道孝	瀧塚政明	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	新美三喜雄	山本恭久	大村文俊	都築清子	久保秋男	渡辺功	結果
議案	1 阿久比町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	2 阿久比町水道料金及び下水道使用料審議会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	3 阿久比町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	4 阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	5 阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	6 阿久比町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	7 阿久比町子ども・子育て審議会条例及び阿久比町立保育所設置及び管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	8 阿久比町子ども医療費支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	9 阿久比町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	10 令和4年度阿久比町一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	11 令和4年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	12 令和4年度阿久比町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	13 令和4年度阿久比町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	14 令和5年度阿久比町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	15 令和5年度阿久比町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	16 令和5年度阿久比町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	17 令和5年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	18 令和5年度阿久比町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	19 令和5年度阿久比町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20 阿久比町廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び阿久比町資源ごみ等持ち去り防止に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	21 令和4年度における新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	22 令和5年度阿久比町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
出議員案提	1 阿久比町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意	1 副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	2 教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	3 固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
報告	専決処分の報告について(阿久比中学校校舎増築等工事に係る変更契約について)														

常任委員会レポート

総務建設

令和4年度阿久比町
一般会計補正予算
(第12号)

阿久比町水道料金及び
下水道使用料審議会条
例の制定について

問 阿久比町水道事業
及び下水道事業運営委
員会が設置されている
が、審議会は必要か。
答 運営委員会は町長
の諮問に応じ審議し、
意見を具申するという
規定がある。しかし、
適正な水道料金等は、
町民の生活に直接関係
するため、水道料金等
のあり方に集中して審
議する必要があるので、
審議会を設置するべき
と考える。

令和5年度阿久比町
一般会計予算

問 ふるさと納税の件
数が増加している。収
支のバランスは。

答 寄附額に応じて返
礼品が決まっており、
その額も3割と決めら
れている。ふるさと納
税の額より支出の金額
が多くなることは制度
上ない。

問 育児休業取得は、
昨年より若干増えてい
るが男性の育児休業取
得の状況。

答 男性職員は現状取
得していないが、短期
の育児休暇、育児参加
休暇を取得する職員も
少しずつ増えている。
今後普及していきたい。

問 ごみ処理事業で旧
可燃ごみ袋を使用した
ことで、減額補正とな
った。旧可燃ごみ袋は
未だに多く使用されて
いるが、使用期限を延
長する考え。

答 旧可燃ごみ袋使用
で、大きな混乱もなか
ったため再度検討し、
在庫の量を精査したう
えで、改めてお知らせ
したい。

問 土地改良事業費宮
津地区計画調査業務委
託料が減額となってお
り、県からの補助金も
入っていないが。

答 令和5年度は県の
補助を受けず見送り、
準備委員会、町も含め
関係機関と連携し準備
を進め、令和7年度に
新規事業として採択で
きるよう検討していき
たい。

(副委員長 山本良輔)

文教厚生

令和5年度阿久比町
一般会計予算

問 阿久比スポーツ村
整備事業、工事請負費、
スポーツ村道路標識改
修工事費の中に、愛称
を募集するアンケート
費用も入っているか。

答 愛称募集は、学校
から保護者宛てのコク
ー、一般の方、小中学
校の皆さまへはホーム
ページを使用する予定
なので、予算には含ま
れていない。

問 標識の中にどの様
に愛称を表記していく
予定なのかは決まってい
るか。

答 まだ考えがまとま
っていないが、阿久比
スポーツ村、交流セン
ター、愛称の3点は必
要と考えている。標識
の大きさは変わらない
がデザイン的なものは
検討の余地がある。

問 交流センタープ
ールボイラー改修工事
計委託料220万円、
プールボイラー改修工
事491万6800円が
計上されているが、
ボイラー工事の具体的
な内容と完了見込みは
いつ頃か。

答 今ある重油タンク
を取り払い、新しくプ
ールボイラー2基を交
換する。それに伴う配
管の移設、ガス管敷設
工事を、一般開放が終
わる9月を待って行う。
工事完了時期は令和6
年3月を予定している
が、一般開放は、調整

期間も必要な事から、
令和6年6月を目標に
考えている。

問 子どもサミットは、
エコバック作成として
130万6000円が
計上されている。この
事業は町制70周年記念
事業として開催される
という事だが、開催時
期・内容等の詳細はど
の様になっているか。

答 8月と1月の2回
を予定している。
参加予定者は、中学
校生徒会と小学校児童
会の役員。講師を招い
て、SDGsを学び、
意見交換をしながら、
学校でできる事などの
提言をまとめ、阿久比
の未来や可能性を話し
合ってもらうサミット
にしたい。

(副委員長 竹内卓美)

3月15日に総務建設委員会を、17日に文教厚生委員会を行い、それぞれに委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う



今議会では、3月8日(水)・9日(木)に5名の議員が一般質問を行いました。
一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずねるものです。事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。
持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。
次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1ページで、掲載しています。

今回の傍聴人数 延べ **20人**

ページ	議員名	質問項目
8	久保 秋男	1. 新年度一般会計当初予算編成の基本指針 2. 町財政と予算に係る全般的な分析・検討・課題
9	都築 清子	1. 離婚前後の親子支援 2. ファミリー・サポート事業の拡充
10	山本 恭久	1. 経営資源を事業活動に活かす術
11	澤田 道孝	1. 非核平和都市宣言阿久比町
12	新美三喜雄	1. 「夢ある阿久比町」の実現に向けて 2. 出産・子育て支援 3. 高齢者介護施設

答弁者

総

…総務部長

民

…民生部長

建

…建設経済部長

教

…教育部長



各議員が質問した記事に関連するSDGsの目標アイコンが掲載されています。

当初予算基本指針



夢ある未来へのまちづくり

改革・改善に取り組み、
気構えと危機感を共有し、
山積する課題に向き合い、
さまざまな分野へ行き届くように、施策展開を行う
予算編成に努めなければならぬ。

問 新年度一般会計当初
予算編成の基本指針。

答 町長 町税収入の減少や社会保障関係経費の増加など厳しい財政状況の中、限られた予算を効率的に配分し、「夢ある未来へのまちづくり」に主眼を置いた予算編成とした。

問 財政調整基金の取り崩し状況と償還元金及び町債の発行状況は将来健全財政運営に支障は。

答 町長 財政調整基金からの繰入額は前年度と同程度に抑え、地方債の発行もできる限り抑制している。今後も効率的な行政運営に努め、収支均衡を図る。

分析・検討・課題は

将来を見据えて判断

問 中長期的な町財政状況は、どう分析し課題は何か。

答 町長 中期計画である第3期実施計画においては、歳入における財源不足と物価高騰の影響が長期化することが懸念される。

問 子育て支援、社会保障、福祉医療の地方負担増が予測されるが、どう分析し検討されているか。

答 町長 一般会計当初予算の扶助費の額と比較すると、令和5年度では、

5年前の平成30年度に比べ、約2億8千万円、15%以上の増額となっており、今後も増加するのではないかと予測している。

問 コロナ禍・ウクライナ問題等で社会経済への影響は避けられず、住民生活に影響をおよぼしているが本町の見解は。

答 町長 燃料価格高騰や物価高騰は住民生活への影響も大きいと考えている。当初予算に給食費の値上げを行わないための食料費上昇分を計上し

たほか、地域の実情に応じた対策を講じられるよう国等へ財政支援を要望していく。

問 将来を見据えた新規事業。

答 町長 阿久比駅前事業調査業務、丸山公園遊具設置工事、医療的ケア児の受入れ体制確保、交流センタープールの温水設備工事、企業用地調査業務など。

問 事業の廃止や見直し。

答 町長 住民サービスの低下になるような廃止や見直しは行っていない。

問 公約は予算編成に反映されているか。

答 町長 「教育のまち」子ども医療費助成の入院分を高校生年代まで拡大、GIGAスクール構想推進事業など。「住み続けたい調和のとれたまち」新半田病院建設に伴う暫定道路整備事業、都市計画道路名古屋半田線関連アクセス道路の予備設計など。「にぎわいと活気のあるまち」阿久比駅前事業調査業務、阿久比駅東側からの新たなアワセ



久保 秋男 議員
(済和会)



遊具設置予定地（丸山公園）

入道路を検討する概略設計業務など。「安全で安心なまち」被災者支援システム導入、特殊詐欺対策として簡易型自動録音機の配布など。

問 リーダーシップをどのように発揮するのか。

答 町長 ボトムアップを基本とし、速やかな決定を必要とする場合には町の将来を見据えた的確な判断のもとに決断し、行政の執行をリードしていく。これ続けることが町民からの信頼につながると考えている。



離婚前後の親子支援

ホームページ上で情報提供



問 離婚によるひとり親世帯のうち未成年の子どものいる世帯数。

答 ひとり親等手当の受給対象世帯のうち、離婚が理由である世帯は160世帯だが、実際には、これより2割程度多いと見込まれる。

新たな人生のスタートが離婚という選択であったとしても、親と子の安定した生活は大事であると考える。

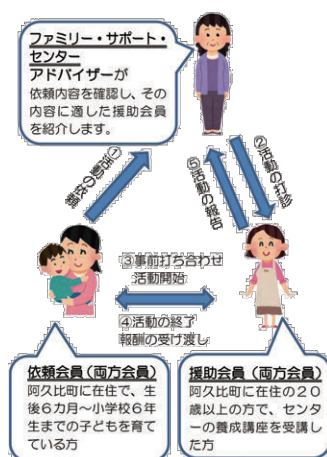
問 法務省のホームページには「離婚を考えている人へ」と離婚をする前に考えるべきことの情報などが掲載されている。本町でも必要な情報が必要な人へ届くよう悩める人へ寄り添う支援ができないか。

答 ホームページの活用が有効と考えられるので、早急に準備し記事を掲載するとともに、リーフレットの作成を進める。

ファミリー・サポート事業の拡充

引き続き援助会員の増加に力を入れる

2018年10月に開設した「あぐいファミリー・サポート・センター」は今年で5年目になる。年齢制限で子どもの預かり等の依頼ができないといった声がある。住民のニーズは他にもあると思われる。



問 依頼、援助、両方会員の人数と活動状況。

答 令和5年1月末現在
・依頼会員148人
・援助会員24人
・両方会員25人
令和4年4月～
令和5年1月末活動状況
・送迎142件
・送迎及び預かり8件
・預かり89件

問 年齢制限を設けず、介護サービス等を受けるまでもない高齢者、障がい者の見守り等の依頼ができるなど全世代型に拡充はどうか。

答 障がい児や中学生は、援助会員とのマッチングが難しいと考えられ、高齢者は、別に支えあい事業を推進している。

援助会員の人数が少ない中で、対象年齢を拡大することは難しい状況であり、引き続き援助会員の増加に力を入れ、将来事業拡大ができればと考えている。



都築 清子 議員
(公明党)

経営資源を事業活動に活かす術



人事制度向上&組織活性化を図る

経営資源を構成する5要素を「人」「物」「金」「情報」「時間」という。

これらを有効かつ最大限に活用できる仕組みを構築し、実効性が発揮できる職員の人づくりや、行政運営は町長の課題である。

自治体経営改革に向けた意識改革や政策形成能力向上に必要な手段を探る。

「人」

問 人事制度を構成する各種制度や、それらの評価基準は明確かつ適切か
また、運用上の主な課題と解決策。

答 総 人事評価制度では、5段階の評価基準を設け、着眼点や基準を明示し、適切な評価となるよう努めている。

課題は、目標設定や評価結果に差が生じていることである。
来年度、外部講師を招き改善を図る。

問 ボトムアップに向けた制度上の仕組みのあり方。

答 総 分かりやすいビジョンの共有と、職員同士が常日頃から意見交換することができ体制。

問 職員のモチベーションとチャレンジ精神の向上を図るための手段や方法。

答 総 努力が報われ、やりがいと達成感を感じられる人事評価制度を確立する。併せて、コミュニケーションの活性化を図る。

問 人事部門を独立させた組織改革への見解。

答 総 町村の規模で、人事部門を独立させることは難しい。機構改革で、効率的な行政運営ができる組織体制を検討する。



山本 恭久 議員
(黎生の会)

地域と行政の関係づくりの原点は、地域住民との良好なコミュニケーション能力から築く信頼関係に尽きると思っている。

職員には、地域住民の期待と信頼に応えるために、取り巻く環境変化や地域課題など、住民のニーズをタイムリーな情報として把握し、物事を本質から理解する心構えと行動ができる姿を求める。

「情報」

問 まちづくり懇談会の今後の展開方法。

答 町長 来年度の開催場所は、小学校区4ヶ所、開催時間は平日の夜と、休日の昼と夜で行う。
今後も参加しやすい実施方法を検討していく。

問 地域と行政の関係づくりから。

⑦住民と一体になった活気ある行政運営の姿と、協働に向けた手段。

⑧すべての世代が支えあえる地域の活性化で目指す地域像と、その施策を裏付ける情報の入手方法。

答 町長

⑨行政と住民が情報共有し、様々な手段で集めた住民の声を取り入れながら施策や計画を進める。

⑩地域の問題や課題は、地域で解決を試みる住民主体のつながり、支えあう体制が必要。
すべての大人が指導者となり、町全体が学び舎となって、子どもたちを育てていく「幼保小中一貫教育プロジェクト」の理念と共通している。

非核平和都市の宣言は

宣言に当たり、町民と世界の恒久平和を考える



令和5年2月20日の議員懇談会において、町長が「平和都市宣言」を実行されると聞いたので、どのような形で進めるのか伺う。

私は、常々本町も平和都市宣言をしてほしいと考えてるので、大変喜ばしい。

昨年2月24日、ロシアのプーチン大統領によってウクライナ侵攻が始まり、物価高騰や食料危機をはじめ世界で様々な問題が発生し、日本も大変な状況に至っている。特にエネルギー高騰は、全世界の物価上昇の要因となり、大きな問題である。特に発展途上国及び資源小国は大変な影響が出て餓死者が出るのではと危惧するものである。

戦争の決着は、今だつかず混沌として建物の破壊と多数の犠牲者が、毎日報告されており、誰が見ても正常な平和な世の中とは到底言い難い惨状である。プーチン大統領

の人類の進化論を否定するような残忍な戦争は、早期に終結するとは考えにくく、日々の戦禍は深く続くと危惧される中、世界中が一刻も早くこの戦争が終結し、平和な世の中が、訪れることを祈っている。

そこで、本町が平和都市宣言をすることは、大変意義深い事である。その宣言が世界の恒久平和の実現に寄与する事はとても重要である。新町長が誕生し、このことについて、どのような施策を取るか町民は大変関心をもって見守っている。



澤田 道孝 議員
(佐和の会)

問 令和5年2月20日議員懇談会において、田中町長が「平和都市宣言」を実行されると示したが、その内容について伺う。

① いつになるか。
② どこで披露するか。
③ 宣言の内容は。

答 町長 式典などの行事で披露し、多くの町民の皆さまと共に宣言したい。内容は、平穏な日常がいつまでも続き、戦争やテロ行為、核兵器などの脅威のない世界の恒久平和を願うものにして、町民の皆さまと共に世界の

恒久平和について考える機会とするため、パブリックコメントを実施し、議会の議決を経た上で決定したい。



武豊町「非核・平和宣言の町」の標柱

夢ある阿久比町を実現するには



地域コミュニティをさらに支援する

- 町政の課題は、
- ① 住環境の整備・維持
 - ② 出産・子ども環境
 - ③ 障がい者・高齢者環境
 - ④ 農工商の発展
 - ⑤ 教育文化スポーツ振興の5つが重要である。

問 町民の声を反映させるための手段は、今まで工夫がされているが、十分か。

答 十分ということはない。電話やHP、まちづくり懇談会、アンケート調査、住民税1%町民予算枠制度「わくわくアイデア事業」など様々な方法で町民の声を集めている。今後声を集める手段を検討していく。

問 現在、南部・東部コミュニティ推進協議会が発足しているが、そもそも町としての意図・活用はどうか。

答 協議会の設立目的は、地域連帯意識を育て、住みやすい地域づくりを推進すること。地域の課題は地域で解決する組織となることを期待する。



東部コミュニティの「東部ふれあい広場」

問 今後のコミュニティ推進協議会のありたい姿をどう考えるか。

答 顔の見える地域づくりを進め、地域課題の解決や地域の特性を活かした様々な活動を自主的に行い、活性化するように支援する。

出産・子育て支援は

幼保小中一貫教育の再構築を考える

国は、異次元と名打って将来の人口減少を食い止める策を検討している。各自治体で異なる事情を抱かえているが、本町の事情を踏まえた有効な支援が望まれる。

問 本町の出産・子育て事情の分析と課題をどう見るか。

答 本町においては、これまで自然増・社会増の要因から、未就学児が増え続けたが、最近の出



答 今後、急激な子どもの増加は見込まれず、徐々に減少することを想定しており、これに合わせて、事業の再構築を考える時期にきている。

高齢者 介護施設は

入所施設は 民間を誘致

「住みやすい町・住み続けたい町づくり」に欠かせないのは、さらに増える高齢者の福祉施策の充実が重要なテーマである。

問 高齢者介護施設は、本町の通所・入所に分けた充足状況はどうか。

答 入所施設は、ほぼ飽和状態と考えられるため、令和4年度に民間の入所施設を誘致。町内の通所サービスは、極端な不足と考えていない。



新美三喜雄 議員
(新済会)

問 今後取り組むべき課題は何か。



3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々のけんこうできな生活を確保し、福祉を促進する



11 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する

あの答弁は どうなった！

01

新半田病院アクセス課題

議会だより 第178号掲載 (2018年8月1日)

Q

野崎交差点以外の場所で、知多東部線と接続させる考え

A

環状線は、県の事業となるので、県で様々な角度から実現に向け検討している。

現在は

都市計画道路環状線は、県の都市計画決定路線で県の事業となるので、町の要望や道路の構造等を踏まえ、県において検討している。

02

ゴミ削減施策と課題

議会だより 第180号掲載 (2019年2月1日)

Q

草や剪定枝の堆肥化の調査研究の進捗

A

刈り草・剪定枝の出し方や収集方法・処理方法など近隣市町の状況や収集業者等の意見を参考に調査研究を進めている。

現在は

令和5年5月より刈草・剪定枝の拠点回収を開始する。回収した刈草・剪定枝は、堆肥化・チップ化することで、より一層のごみ減量化を図る。

03

障がい者福祉の現状と今後の展望

議会だより 第181号掲載 (2019年5月1日)

Q

障がい者自立支援協議会で出された課題

A

特別支援学校の卒業生が多くなっており、受け入れる生活介護事業所の定員が不足している。町内に障がい福祉サービス計画相談支援事業所がない。

現在は

卒業生の進路は、早い時期から連絡調整会議を開催し、進路が決定するよう努めている。計画相談は、町外の事業所に依頼し、利用者ニーズに対応している。

04

0歳～2歳保育所入所申込条件

議会だより 第182号掲載 (2019年8月1日)

Q

両親とも社会保険加入の条件は続けるのか

A

見直しに向け検討する。

現在は

令和2年度から3年間を掛けて、社保加入要件を段階的に撤廃した。令和4年度入所からは、すべての年齢の保護者に対して条件としていない。

05

空き家・空き地バンク

議会だより 第182号掲載 (2019年8月1日)

Q

近隣市町では開設しているが本町は

A

空き家バンクの創設を検討。

現在は

令和2年11月20日付で、(公社)愛知県宅地建物取引業協会と阿久比町における空き家等の対策に関する協定を締結し、協会運営の空き家バンクを設置した。

町民の声

宮津地域資源保全の会

代表 新美 朝久

東部地区は、6つの地域で成り立っています。東部コミュニティ推進協議会が発足して早5年が立ち、各地域も子ども会活動や高齢者のいきいきクラブそして地域見守りや支え合い活動も活発に行われ、コミュニティ活動も一層元気になってきています。

その中で、ほとんど全ての団体が主催しての「東部ふれあい広場」は、10月に東部小学校で、地区の体育振興も含め、フリーマーケットや餅つきそしてサロンとにぎやかに行われています。

前置きが長くなりましたが、表題に戻ります。宮津地域資源保全の会は、町内9地区で実施されている多面的機能推進する国の施策として「農地の維持・地域資源の向上」を目的とした宮津地区の団体です。登録農地20ヘクタールを対象に農地及び付随する農道や水路やため池の管理そして愛知用水の管理も利水委員と協力して行っています。活動人員は、延べ230名 年間40回程の活動を行っています。中でも景観形成活動として、花畑や花壇2か所の管理も行い、年2回花の植え替えをして、観る人の癒しにも役立っています。

会設立から早10年目となり、当初のメンバーは、もうすぐ後期高齢者となり、役員やメンバーも入れ変わっていく時期が近づいています。とにかく、この活動を継続していかねばなりませんし、後継者づくりをしてつなぐことが、今のメンバーの使命と思い、活動の中で新たなメンバーも加えつつあります。

どの団体も社会情勢の変化により、後継者選びは苦労していますが、若い世代が、どのような社会を目指すのか、そのうち見えてくるとは思いますが、地域の「絆」が、町づくりの原点であることをお忘れなくと申し上げて、筆を置かせて頂きます。



昨年7月の豪雨災害を受けた水路の修理風景

編集後記

今の編集委員の最後の発刊となりました。県主催のクリニックの指導を毎年受けながら少しずつではありますが、新しい発想を取り入れながら進めてまいりました。町民の皆様には、まだまだ至らぬ点もあるかと思いますが、行政と議会は、車の両輪であり、前進するしかありません。とにかく、町民皆様が手にして頂けるまで刷新を継続して参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

議会だより編集特別委員会

委員長／新美三喜雄	副委員長／小柳みゆき
委員／久保秋男	委員／瀧塚政明
委員／竹内卓美	委員／山本良輔

傍聴席へどうぞ
次の定例会は
6月7日(水)開会

※午前10:00～開会予定です。日程は変更になる場合があります。詳しくは阿久比町ホームページの議会事務局お知らせをご覧ください。



阿久比町の安全・安心をお届けする「アプリ」

あぐい防災・行政ナビ「**AguNavi (アグナビ)**」

災害時や緊急時は「いのちを守る情報」を平常時は「暮らしの情報」や「イベント情報」などをお使いのスマートフォンにお届けします。スマートフォン版アプリを利用するには専用アプリ「ライブビジョン」をインストールして初期設定を行う必要があります。



iPhone用



Android用

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。